



議会

だより

55号

令和元年
8月1日発行

発行／設楽町議会 編集／広報委員会
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675
E-mail : gikai@town.shitara.lg.jp



もくじ

- 議長就任あいさつ・議会構成 2
- 定例会・委員会報告 3
- 議員6名の一般質問 6
- 委員会の管内視察 12

**第2回臨時会
(5月)**

令和元年第2回設楽町議会臨時会(5月7日)で、新しい議会構成が決まりました。(2ページを参照ください。)また、専決処分の承認4件と補正予算1件について採決を行いました。

件名	結果	備考
承認 専決処分の承認について(設楽町税条例等の一部を改正する条例) 軽自動車税、ふるさと納税制度に関する一部改正	承認	賛成多数
承認 専決処分の承認について(平成30年度 設楽町一般会計補正予算【第8号】) 田口特産物振興センター修繕事業、道の駅清嶺(仮称)運営体制構築委託事業、防災行政無線屋外子局電源装置修繕事業の年度内完了が困難になったことによる予算の繰越	承認	全員賛成
承認 専決処分の承認について(平成30年度 設楽町簡易水道特別会計補正予算【第4号】) 水道移転補償費、水道管更新工事の進捗に伴う予算の繰越	承認	全員賛成
承認 専決処分の承認について(平成30年度 設楽町公共下水道特別会計補正予算【第4号】) 水道移転補償費、管渠布設工事の進捗に伴う予算の繰越	承認	全員賛成
補正予算 令和元年度設楽町一般会計補正予算(第1号) 風しん抗体検査事業、プレミアム付商品券関連事業の追加	可決	賛成多数

**第2回定例会
(6月)**

令和元年第2回設楽町議会6月定例会(6月4日~18日)で、4日に6名の議員の一般質問と議案の上程、18日には各委員会に付託された議案、陳情書の審議結果の報告があり、追加で意見書及び工事請負契約に関する議案が2件上程され、採決を行いました。

件名	結果	備考
報告 平成30年度 設楽町一般会計繰越明許費繰越計算書について 地籍調査事業他18事業の予算の繰越に対する計算書	了承	
報告 平成30年度 設楽町簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書について 水道管移設工事等の予算の繰越に対する計算書	了承	
報告 平成30年度 設楽町公共下水道特別会計繰越明許費繰越計算書について 水道移転補償費等の予算の繰越に対する計算書	了承	
議員提出 特別委員会の設置について(設楽ダム対策特別委員会)	可決	全員賛成
条例改正 設楽町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 職員の超過勤務命令の上限を定めることの一部改正 ・反対討論 職員を過労死へと導く改正である。 ・賛成討論 超過勤務の申請の確認等しっかりされており、過労死へ導くような改正ではない。	可決	賛成多数

就任の挨拶



議長
松下好延

議長就任にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。
議員改選後の初議会において、正・副議長をはじめ議会構成がつつがなく終了いたしました。
この度、議長に選ばれましたことは、大変光栄に存じますとともに、町の将来を考えますと、その重責を痛感しているところでもあります。
申し上げるまでもなく、議員活動、議会活動を通じて議員資質の向上に役立つよう微力ながら努力してまいりたいと思っております。
町民の皆様のご支援とご協力をお願いし、就任のあいさついたします。

新しい議会構成決まる

議会構成

議長 松下好延
副議長 高森陽一郎

総務建設委員会
◎定数 6人

委員長 今泉吉人
副委員長 七原剛
委員 土屋浩
山口伸彦
田中邦利
松下好延

文教厚生委員会
◎定数 6人

委員長 加藤弘文
副委員長 原田直幸
委員 金田敏行
金田文子
伊藤武
高森陽一郎

議会運営委員会
◎定数 6人

委員長 金田敏行
副委員長 田中邦利
委員 加藤弘文・今泉吉人
土屋浩・高森陽一郎

設楽ダム対策特別委員会
◎定数 6人

委員長 土屋浩
副委員長 山口伸彦
委員 原田直幸・加藤弘文
金田敏行・高森陽一郎

監査委員 議会選出
山口伸彦

東三河広域連合議会議員
伊藤武・土屋浩

**北設広域事務
組合議会議員**
加藤弘文・松下好延

総務建設
委員会

6月6日開催 / 付託事件 10件・管内視察 (12ページを参照ください)
議案第47号 設楽町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について… 質疑9件、討論なし、賛成多数 (4:1)
議案第48号 令和元年度設楽町一般会計補正予算 (第2号)… 質疑13件、討論なし、賛成多数 (4:1)
陳情8件… 採択2件 (意見書提出1件)、趣旨採択2件、聞き置く3件、不採択1件

文教厚生
委員会

6月11日開催 / 付託事件 3件・管内視察 (12ページを参照ください)
議案第48号 令和元年度設楽町一般会計補正予算 (第2号)
 … 質疑 3件、討論なし、全員賛成
陳情2件… 趣旨採択2件

設楽ダム
対策特別
委員会

6月13日開催 / 所掌事務の調査・現地視察
(1) 県道小松田口線について
(2) 魚類保全施設 (仮称) の整備について

現地視察

6/13
木

設楽ダム工事事務所から、転流工 (川の流れを迂回させる) 工事の説明を受けました。平成30年8月からトンネル掘削 (延長422m) に着手し、平成31年3月に貫通しました。現在は、トンネルの内壁をコンクリートで覆う作業を行うとともに、呑口 (入口)、吐口 (出口) の整備も進め、今年度末には完了予定とのことです。

愛知県新城設楽建設事務所設楽ダム関連事業出張所から、国道257号 (安沢の坂) で実施している工事の説明を受けました。水没付替の (主) 瀬戸設楽線の接続と現道の急カーブ区間の緩和を目的に、S字のミニバイパスで改良する計画で延長は約1kmです。平成28年度の着手当初よりICT工事 (情報化施工) で進められており、現在は山切りを実施しています。



流転工 (呑口) 工事現場



国道257号工事現場

5月20日午前9時に全員協議会を開催し、協議事項3件を審議しました。
 協議内容 ・ 設楽町自殺対策計画について
 ・ 設楽ダム事業について
 ・ その他 WRC (世界ラリー選手権) について

6月18日定例会終了後に全員協議会を開催し、協議事項1件を審議しました。
 協議内容 ・ 道の駅清嶺 (仮称) のテナント事業者募集について

第2回
全員協議会
(5月)

第3回
全員協議会
(6月)

件名	結果	備考
補正予算 令和元年度設楽町一般会計補正予算 (第2号) WRC (世界ラリー選手権) プレイメント事業費 設楽ダムカレー推進事業費、地籍調査事業費 保育無償化に伴うシステム改修事業費の増額 ・ 反対討論 WRCの関連予算を住民福祉に傾けるべき、またダムカレー予算についても、ダムを崩して食べるのはイメージが悪いので反対である。 ・ 賛成討論 WRCやダムカレーの関連予算については、町の振興策に繋がるものであると期待しているので賛成する。	可決	賛成多数
契約 工事請負契約の締結について (防災行政無線【移動系】デジタル化工事)	可決	全員賛成
工事請負契約の締結について (新斎苑敷地造成工事)	可決	全員賛成
発議 地方財政の拡充を求める意見書	可決	賛成多数
陳情 地元業者及び東愛知建設業協会員の入札参加についての陳情書	採択	全員賛成
すべての子どもたちによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	(多数)
最低賃金の引上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書	聞き置く	(多数)
公契約事業者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	(多数)
すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	(多数)
住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情書	聞き置く	(多数)
地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書	採択	全員賛成
沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書	聞き置く	(多数)
保育士の人材定着・確保のため、職員配置基準と公的価格を抜本的に改善し、大幅増員と賃金の引き上げを求める意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	(多数)
消費税率10%への引き上げの中止を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	(多数)



東京オートサロン2019でのWRC (世界ラリー選手権) PRブースの様子

問 子ども議会開催で町政活性化を 答 子どもの声の町政への反映は大切

【質問】 町政活性化のために、町民の声を直接行政に反映する試みとして、まず、「子ども議会」の定期開催を行ってはどうか。そこで子どもたちの声を具体化し実現していくことで、町政への参画意識を高める教育的な意義もある。また、住民の声を真摯に生かそうとする行政及び議会の姿を町民に具体的に

理解していただく機会にもなると考えるがどうか。

【質問】 安易な学校統廃合は地域の衰退を招きかねない。急激な地域の過疎化少子化の中で、山村留學制度の導入を図った教育実践がある。本町に、山村留學制度を導入する研究や検討を進めてはどうか。

【企画ダム対策課長】 現在、町が若者の意見を直接聞く機会はないとどなく、必要に応じて対応している。設楽中学校文化祭での「設楽町活性化大作戦」の発表などを聞くにつけ、こうした声をとても大切にも考えている。

【質問】 昨年、「設楽町立小中学校適正配置検討委員会」が設置され、アンケートも実施されたが、この結果をどのように分析生かそうとしているのかを問う。

【教育課長】 アンケートについては現在分析中で、整理でき次第皆さんにお伝えする。本委員会は学校の統廃合を前提に協議を進めるものではなく、地域にとって最も望ましいあり方について幅広く意見を募り、方向性を定めていく組織である。児童生徒を健全に育てることを第一として、教育環境等の充実を図るために必要な適正配置について

【教育課長】 実践の意義はあるが、学校や生徒への負担が懸念される。教員の多忙化解消にも取り組んでいるところであり、開催については若干消極的に考えざるを得ない。

【町長】 設楽町の未来を担う子どもたちの意見や考えを聞くことは大切。関係者と内容をつめながら、実施に向けてできる方法を考えたい。

【町長】 近隣に良い事例もあり、移住定住対策にも結びつく意義のある施策ではあるが、まずは本町を移住先の選択肢の一つとしてもらえるよう教育環境をさらに魅力的なものにしていくことに尽力する。



加藤 弘文 議員

【町長】 設楽町の未来を担う子どもたちの意見や考えを聞くことは大切。関係者と内容をつめながら、実施に向けてできる方法を考えたい。

【町長】 設楽町の未来を担う子どもたちの意見や考えを聞くことは大切。関係者と内容をつめながら、実施に向けてできる方法を考えたい。



問 設楽ダム建設に伴う水力発電事業の現状を問う

答 町として発電事業実施に向けて積極的に検討を進めて行く

【質問】 設楽ダムは、水力発電事業が目的に入っていないため、国が管理利用するための発電しできないという現状に変わりはないか。

【企画ダム対策課長】 現在、検討が行われているのは、国の管理用発電のみと聞いている。ただ、法的には発電の用に供する者は国に限られるというわけではない。

【企画ダム対策課長】 F-I-T制度、電気事業法、特定多目的ダム法など、不明な点や課題の整理し、国や県へ意見を聞きながら進めている。

【質問】 町として発電事業に対して、どのような対応をしているのか。

【質問】 設楽ダムは、水力発電事業が目的に入っていないため、国が管理利用するための発電しできないという現状に変わりはないか。

【企画ダム対策課長】 F-I-T法が改正され、売電収益の計画が立てやすくなったことや他の自治体の先進事例があったこと、町として発電事業実施に向けて積極的に検討を進めて行くことにした。

【質問】 平成20年の時点では、発電した電力を町の公共施設等へ有効利用したいとしていたが、その考えに変わりはないか。

【町長】 設楽ダムを利用した発電を町の将来にわたってどう活かすか。町の人たちが、有益に利用できることを念頭において、これからも対応をしていく。

【質問】 本年度ダム本体の工事の一部基礎掘削に着手し、本体設計も完成間近だとすると、国との協議を進めていないといけない状況だと思いがどうか。

【企画ダム対策課長】 国とは、発電事業の可能性について相談を始めている段階で、今後必要な調整を進めていく。

【質問】 先進事例の取り組みを研究しているのか。

【企画ダム対策課長】 和歌山県の有田川町が町営で小水力発電事業を行っている、最大出力199kw、売上高は年平均4,300万円となっている。この売電益を環境型社会の構築等に使用している。

【質問】 水力発電の検討をしていくうえで、発電量は何kw(キロワット)まで可能か。設楽ダムとしては、何kwを予定しているのか。また、その根拠となるものは何か。

【企画ダム対策課長】 設楽町省工

【質問】 克服していかねなければならない課題も数多くあると思うが、どのような内容か。

【企画ダム対策課長】 F-I-T制度、電気事業法、特定多目的ダム法など、不明な点や課題の整理し、国や県へ意見を聞きながら進めている。

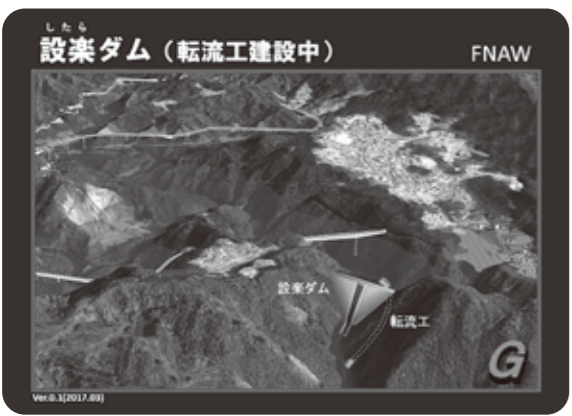


原田 直幸 議員

【企画ダム対策課長】 設楽町省工

【質問】 克服していかねなければならない課題も数多くあると思うが、どのような内容か。

【企画ダム対策課長】 F-I-T制度、電気事業法、特定多目的ダム法など、不明な点や課題の整理し、国や県へ意見を聞きながら進めている。



問 猫の不妊・去勢手術費助成について 答 状況調査をしたうえで検討したい

質問 動物愛護管理法の改正をうけ、ネコの殺処分ゼロを目指す自治体が増え、県内においては、ネコの不妊去勢手術への補助や保護団体への助成などをおこなう自治体が増えている。

多頭飼育崩壊や所有者不明ネコの問題が常態化している今、人と動物が互いに共生できる町づくりを目指すために、不妊去勢手術への補助制度を検討する用意はないか。殺処分の実態、終生飼養義務、所有者明示などについての啓発も考えないか。

生活課長 行政区を通じて現在の状況を調査した上で、不妊去勢手術への補助制度を検討したい。猫の飼い方、終生飼養義務、所有者明示などについて広報等を活用し啓発活動に取り組む。

問 国保料の子ども均等割の減免を 答 財源的に可能であり、検討する必要がある

質問 高すぎる国民健康保険料。せめて、子育て世帯に対しては子ども分の均等割は減免すべきだ。均等割は、赤ちゃんでも負担することになり、子どもの多い世帯ほど負担が重くなる。子育て支援、少子化対策と逆行しているのではないか。

町民課長 国保の均等割という減免を実施する市町村が拡大しており、当町では200万円弱で18歳までの子どもに対して減免できる。子育て世帯の負担軽減と少子化対策として、均等割減免を実施する考えはないか。

のは独特の考え方といえる。赤ちゃんであっても医療の給付を受けるが、子どもが多い分だけ負担が重くなっているのは事実。18歳以下の均等割の総額は、単純に言えば30年度賦課額24,900円に82名を乗じた2,041,800円となる。財源的には可能な範囲なので、実施市町村の状況を参考にしながら、町の子育て世帯の均等割負担減免措置について検討する必要があると思う。

ただし、実施時期については、次年度に向けての検討となる。移住定住推進の新たな施策として前向きに検討したい。

町長 負担の公平性を考えた場合には、国保被保険者の子どもに係る均等割の減免措置ということについては、検討する必要があると考えている。

意見 子育て支援、少子化対策という観点から実現してもらいたい。



田中 邦利 議員



問 台風などによる町道等の復旧状況について問う 答 早期復旧できるように工事を進めている

質問 現在までに、台風などの影響で被害を受けた、町道、林道は何か所あり、復旧、未復旧、復旧費用、今後の見通しは。

建設課長 町道は、昨年の台風並びに、集中豪雨等、115路線で、33,000千円程の復旧作業を行い、未復旧のため現在も通行止めとなっている町道は、名倉津具線(通称、農免道路)と奥三河線の2路線があり、農免道路は、総事業費30,000千円で、災害復旧工事を施工中で、6月末頃に完了予定。奥三河線は、山に大きな亀裂があ

り、県において、治山事業で調査・測量業務を発注し、ボーリングを5カ所行い、滑り面や水位の変化を1年通じて調査し、復旧の工法を検討する。結果が出るのは今年度末で、工事の着手は、来年度以降。県の調査結果で安全性が確認できれば、片側通行の可能性もありうる。次に、林道は、25路線中23路線を復旧し、その費用は、16,000千円で、未復旧は、名倉地区の川宇連線、豊邦地区の吉田小屋線の2路線で、路肩決壊で通行止め、復旧は来年度以降の

予定。
質問 道路状態の見回りなど、シルバー人材センターに頼んでいるか。

建設課長 道路の見回りはないが、道路の日常的な維持管理業務は頼んでいる。

質問 区長から利用度が少ない林道は、地権者が整備するようにと言われたが、これは事実か。

建設課長 林道も町管理であるが、林業経営のための道で受益者の皆さんが、負担金を出しており、日常の草刈りなどは、林道を使用する方をお願いしてい



今泉 吉人 議員



問 町民のための行政の対応を問う 答 来客者に積極的に声掛けなどをし、窓口以案内する

質問 町民のために、どのように接し、対応、行動、実行に心掛けていますか。

総務課長 来客者の対応は、高齢者も増えてきているので、積極的な声掛けと大きな声で丁寧に説明し、窓口以案内するように心掛けています。

質問 職員の倫理はどのように指導しているのか。

総務課長 人事評価で、職員の人事評価は、「姿勢行動評価」を行っている。年度末に自分の仕事に対して自己評価し、上司が評価点数をつけて指導している。

副町長 設楽町の職員が全体の奉仕者という大きな使命で、住民のために、尽くすことが当然であり、職員もそれぞれ心に思っており、住民のために働く役所としていきたい。



問 町民のための行政の対応を問う 答 来客者に積極的に声掛けなどをし、窓口以案内する

質問 町民のために、どのように接し、対応、行動、実行に心掛けていますか。

総務課長 来客者の対応は、高齢者も増えてきているので、積極的な声掛けと大きな声で丁寧に説明し、窓口以案内するように心掛けています。

質問 職員の倫理はどのように指導しているのか。

総務課長 人事評価で、職員の人事評価は、「姿勢行動評価」を行っている。年度末に自分の仕事に対して自己評価し、上司が評価点数をつけて指導している。

副町長 設楽町の職員が全体の奉仕者という大きな使命で、住民のために、尽くすことが当然であり、職員もそれぞれ心に思っており、住民のために働く役所としていきたい。

問 自殺対策計画でどのような取組みを行っていくか

答 住民組織や事業所と連携し自殺予防の普及啓発を行っていく

【質問】最も発生率が高い50代や60代の人たちの心のケアについて、どのような取り組みが必要とされているのか。

保健福祉センター所長 50歳代は働き盛りで特定健診や特定保健指導の対象でもありストレスチェックを組み合わせて、ストレス対処法を学ぶ機会づくりをし、事業所とも連携して心の健康の普及啓発を行いたい。受診や相談しやすい職場の雰囲気づくりや一人ひとりの意識啓発により、町全体の見守り力を高める事が大事である。

【質問】自死遺族に対する面談とアフターケアはどのような流れ、残された家族からの何かシグナルの発信はされたりするのか。

保健福祉センター所長 ご遺族のケアは配慮が必要であり取り組みとしては行っていない。相談実績は特になし。生計者の場合経済的事情も見逃せず、支援を加速するために、役場、関係機関でゲートキーパー研修を実施し支援体制を整えたい。

【質問】折れるように人生を終える選択を避けるためにも、義務教育の時期に心と体を鍛え、投げ出さない、簡単に諦めない自己責任を貫き通す教育方針の確立が問われている。民俗学者の宮本常一氏の著書『忘れられた日本人』のなかの名倉談義で『この地域は男の子を大切にしている』と書かれている。男の子を丁寧にあつちう名倉流の優しさが底流にあり、七転び八起ききの精神

の醸成がされなくなると消極的な人生を選択してしまうという見方をどう考えるか。
保健福祉センター所長 子どもの豊かな心身の育成には、発達段階に応じた支援が重要で物事に立ち向かう力は、自分が自分で良いと思える自信、自己肯定感が基になる。命の教室、赤ちゃん抱っこ体験、学校の命の学習と協働で実施する。SOSを出す方法を知っている事が重要と考える。

教育課長

優しさや子育ての慣習に、当時の時代背景としては『男の子が』という考え方の風潮があったのは否定できないところだが『設楽流』があるのかは実感していない。



高森 陽一郎 議員

問 新基準の防災情報の伝達方法は

答 6月から五段階の基準に沿って行う

【質問】「設楽町地域防災計画（30年2月）」にある孤立対策の「町の措置」①孤立集落と外部との通信の確保、②物資供給、救助体制整備、③孤立に強い集落づくり、④孤立危険地域の広報・啓発等の進捗は。

総務課長 ①防災行政無線屋外子局・個別受信機、消防車の移動防災行政無線で通信確保。難聴地域の解消。電源確保に発電機14台を購入済。衛星携帯電話2基で非常時に町外部と連絡。移動系無線のデジタル化、トランスシーバー44台を導入予定。②

役場備蓄品の他、医院との協定で薬の供給、各家庭のローリングストック（消費しながら補充する方法）を周知。32避難所3福祉避難所は既存施設を指定、人口配分、耐震性を検討。③④集落が点在し孤立の危険性が高い。家族で対応を考える資料に『防災ガイドブック』を配布済。

【質問】「町民のとるべき措置」①正確な情報収集、②非常持ち出し品・救助用具の用意確認、③災害弱者を守る「避難所運営体制強化」（マニュアル等）は若者・女性・高齢者・障害者も参画する必要がある。町の働きかけは。

総務課長 ①デマや噂に惑わされず、テレビ・ラジオ・防災行政無線・スマホ等あらゆる手段で自分の目や耳で情報をつかむ。②自宅以外で生活する必要がある際の備えを『防災ガイドブック』でチェック。各地区への「消防防災出前教室」を活用。③避難所運営は「県避難所運営マ

ニュアル」にそって実施。過去の災害の教訓から女性らが積極的に参加できる体制づくりを検討。

【質問】迅速で二次被害のない災害状況調査にドローンが有効という。町外勤務・在住の家族へも一斉に情報伝達できるSNSサービスがある。これら新技術導入予定は。

総務課長 ドローンや一斉配信サービスは、周りの状況を調べつつ前向きに検討。
【質問】土砂災害防止法改正で要配慮者の利用施設の避難確保計画作成と避難訓練が義務化。危険が及ぶ可能性のある施設は。また本年6月から防災情報の伝え方が変わる。さらに外国籍住民が30名ある。出入国管理法改正や観光戦略で外国人労働者・来訪者が増える可能性も大。外国籍の方への対応は。混乱なく避難行動を呼びかける主体は自治体、町の考えは。

総務課長 31年2月の防災会議で修正をかけたが、正式な周知



はまだ。土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設は、津具小、津具中、愛好ホーム設楽名倉の家の4グループホーム設楽名倉の家の4ヶ所。2021年までに計画100%を目標。外国籍の方への対応はまだ未着手で検討課題。防災情報の伝え方は、6月からの新しい方式で行う。
【質問】災害はいつ起こるかかわからない、目標時期を区切り迅速な対応が必要。「防災ママカフェ」等体験を通して学べる防災学習の場づくりも推進願いたいかがか。
総務課長 防災はここまでやったらOKという線はない、できるところからとにかく進める。自主防災側でも様々な場づくりを積極的に取り組んでいきたい。



金田 文子 議員

委員会の管内視察

総務建設委員会 6/6木

町道名倉津具線
災害復旧工事現場



町道奥三河線
法面崩落箇所



町道奥三河線
山腹亀裂の様子



6月6日（木）に、現在、道路上部の山中に大きな亀裂が見つかり、通行止めとなっている「町道奥三河線」の現状と、昨年の大雨で路肩が決壊し通行止めとなっている「町道名倉津具線」の災害復旧現場を視察しました。

「町道奥三河線」は、現地の地盤や周囲の湧水等の状況を約1年かけ調査・測量をし、復旧工法などを決め、復旧工事を行うそうです。また「町道名倉津具線」は、6月末で工事が完了するので、通行止めとなっている「町道奥三河線」の迂回路として期待されます。



名倉小学校まるねホール



やすらぎの里について説明する
坂口施設長（右端）

6月11日（火）に、名倉学園及び養護老人ホームやすらぎの里を視察しました。

訪れた名倉小学校では、明るく元気に挨拶してくれる児童の歓迎に心を和ませながら、まるねホールの天井改修や各教室へのエアコン設置など教育環境の整備状況を確認するとともに、特別支援教室の取組状況や各授業風景等を見学させていただきました。

それから養護老人ホームやすらぎの里へと移動し、やすらぎの里の現状と課題について、坂口施設長から説明を受けた後、施設を案内していただきました。

特に養護老人ホームの管理運営については、入所者が年々減少しており、経営が厳しくなっていること、施設の老朽化により、修繕に掛かる費用が増加していること、さらには、介護に関わる支援員が年々減少し、職員の高齢化も問題となっているとのことでした。

養護老人ホームは、介護施設では対応できない貧困、低所得、虐待回避、身寄りがいないなどの家庭の事情、知的障害、精神疾患など多様な社会問題を有する方を受け入れるセーフティネットとしての重要な役割を担っていますので、今後の施設のあり方について、関係者や有識者による検討の必要性を求められました。

文教厚生委員会 6/11火

広報委員 委員長：原田直幸 委員：今泉吉人 加藤弘文 七原剛



「したら議会だより」は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。

したら 議会だより

令和元年8月1日

12